

2025 年 08 月 19 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【ジャクソンホール会議、そして、ロシア・ウクライナ情勢】

「ジャクソンホール会議」とは、米国のカンザスシティ連邦準備銀行が、ワイオミング州のジャクソンホールで、毎年夏に開く金融・経済シンポジウムのこと。

過去の例では、2010 年 8 月に、当時のバーナンキ F R B 議長が、量的金融緩和第 2 弾（QE2）に踏み切ることを示唆する講演を行い、金融市場に影響を与えたことが有名。

+++++

今年（2025 年）の「ジャクソンホール会議」は、8 月 21 日から 23 日まで。

特に注目されるのは、パウエル F R B 議長の講演。

この講演で、今後の経済見通しや政策枠組みについて、より明確な説明がなされる可能性がある。

パウエル F R B 議長の講演は、8 月 22 日に予定されている。

+++++

トランプ大統領およびその政権は、F R B に、たびたび利下げを要求しているが、今までのところ、パウエル F R B 議長はその要求を拒絶している。

パウエル F R B 議長がトランプ政権の圧力に屈して、これまで否定的だった 9 月利下げを認めるかどうか注目が集まっている、と考えます。

パウエル F R B 議長の性格を考慮すると、金融政策の独立性を尊重して、9 月も政策金利を据え置きにする可能性も否定できない、と考えます。

パウエル F R B 議長が、その辺りの事柄に関して、何らかの示唆を出すこともあり得る、と考えます。

+++++

+++++

先週（8 月 15 日）、米国トランプ大統領とロシア・プーチン大統領が、米国アラスカ州で直接会談した。

ロシアにしてみれば、経済制裁までの時間稼ぎに成功した、と言えるでしょう。

今週（8月18日）、トランプ大統領とウクライナ・ゼレンスキー大統領の会談も予定されている。

この会談での停戦に関する協議は難航するだろう、と予想されている。

ロシア・ウクライナ情勢は、今後の首脳会談の結果を待つ必要がある、と考えます。

換言するならば、トランプ大統領の自己アピールを鵜呑みにすることは危険だ、と考えます。

++++
++++

（2025年08月19日東京時間13：15記述）